

東石松 盆踊り 口上

◎◎

南無釈迦牟尼佛（なむ しゃかむにぶつ）

南無阿弥陀佛（なむ あみだぶつ）

南無十方一切諸佛（なむ じつぽう いっさい しょぶつ）◎

◎ Ⅱ 鉦・太鼓

盆の踊りの始りを 孟蘭盆教（うらぼんきょう）を紐解いて 語り聴かせん物語 ◎

昔 釈迦のおん弟子 目連尊者（もくれんそんじゃ）◎

おん母 永く病（やまい）に臥したまい ◎

名医集（つど）いて 医術を尽くせど 遂にご逝去（せいきよ）遊ばさる ◎

神通（じんづう）第一 目連尊者 天眼通（てんげんづう）にて 亡き母見れば ◎

前世の罪の深くして 餓鬼道地獄（がきどうじごく）に落ちたまい

骨皮ばかりの姿なり ◎

目連深く哀しみて 母の苦しみ救わんと 鉢に飯（めし）盛り持ちゆかば ◎

食する前に燃え上がり 幾度もたちまち 火炭（ひすみ）となって

遂に（ついに）食すること得ず ◎

目連 驚き 泣き悲しめども 如何（いかん）とも なす術（すべ）なし ◎

馳（は）せ還りてお釈迦様に 母救済の法を請（こ）う ◎

佛の曰（いわ）く 汝の母は罪の根深く 汝一人の力をもつては成し難し ◎

聖者の道を行く者の徳は 海の如く深くて広い ◎

安居（あんご）修行に集まれる 数多（あまた）の僧侶に布施をなし ◎

十方衆僧（しゅうそう）の威神（いしん）の力をもつて

すなわち解脱（げだつ）を願うべし ◎

過去七生（しちしよう）の父母（ちちはは）も 天上界に自在に生まれ

無限の快樂を得ん ◎

目連 佛の諭し（さとし）に従って 世界の高僧に布施をなす ◎

この時 目連その母 たちまち一劫（いちごう） 餓鬼の苦を脱することを得たり ◎

目連尊者喜んで ついに手の舞い 足の踏むところを知らず ◎

多くの大菩薩衆 衆僧 皆大いに歓喜し 舞い踊る これ盆踊りの始めなり ◎

先祖諸靈追善の 供養の一夜（ひとよ）

いざいざ踊り始めなん いざいざ踊り始めなん ◎◎